

制度の名称	Stora Enso Traceability System (ストラエンソ・トレーサビリティ・システム)
対象地域	全世界
証明制度の概要	証明書の発行母体 対象国により、PEFC CoC / FSC CoC および CW / ISO 14001 / EMAS 公認の証明機関
	発行手続きの概要 2006 年は、ストラエンソのトレーサビリティ・システムの審査を受けた木材の 90% は、第三者認証スキームの対象となった。トレーサビリティ・システムの一環として、コンプライアンスを確保するための監査が行われている。
	制度が証明するのは、合法性と持続性の両方
伐採時点の合法性を確認する仕組み	合法性の定義
	国および州の法律に違反した木材の伐採
	関連する法令
	国および州の法律
	想定される違法行為の内容
	合法性を証明する文書の保管および確認方法
	第三者などによる信頼性確保の仕組み
持続可能性を確認する仕組み	持続可能性の定義 ストラエンソでは、持続可能性を、経済、社会、環境問題の合理的な管理と定義している。ストラエンソは、その全バリューチェーンを通して持続可能性に対処し、利害関係者に対して説明義務を果たすことを目指している。
	持続可能性を証明する文書の保管および確認方法 ストラエンソは、年 1 回「持続可能性報告書」を発行しており、2006 年は、英国の CSR ネットワークが独立第三者として保証を行っている。 ストラエンソ・ウッドサプライ・ヨーロッパは、年 1 回、「環境声明書」を発行しており、2006 年は、DNV 認証 Oy/Ab が独立第三者として保証を行っている。
	第三者などによる信頼性確保の仕組み CSR ネットワーク : AA1000 保証基準 DNV 認証 Oy/AB : EMAS 規制 (EY) Nr 761/2001
	伐採から輸出までの取引の実態 持続可能な木材調達および土地管理のためのストラエンソ原則、ストラエンソ・トレーサビリティ・ガイドライン
	分別管理を確保する手法
分別管理の仕組み	第三者などによる信頼性確保の仕組み 対象国ごとに、PEFC CoC / FSC CoC および CW / ISO 14001 / EMAS 基準
今後の課題と展望	システムに対する批判および問題点の認識
	改善の手続き
	今後の展望 第三者証明によるトレーサビリティ・システムの拡大
参考記述責任者	ホームページ : www.storaenso.com > 持続可能性
	連絡先 : Pirjetta Soikkeli, Communications Director, Wood Supply, Sustainability (ピリジェッタ・ソイケリ、広報部長、木材供給・持続可能性) pirjetta.soikkeli@storaenso.com